

岐阜県立山県高等学校

学 校 長 村上 宏俊
学 校 住 所 岐阜県山県市中洞4-4-1
電 話 0581-52-1551

令和6年度 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 山県高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年5月9日(木) 9:30~11:30
- 3 開催場所 山県高等学校 ゼミナール室(会議室)
- 4 参加者

会 長	大野 良輔	山県市教育委員・元加茂農林高等学校長
副 会 長	吉田 安孝	元本校同窓会長
委 員	山田 篤子	山県市主任児童委員
	米山 英津子	岐阜女子大学講師・元岐阜城北高等学校長
	矢能 あけみ	P T A会長
学 校 側	村上 宏俊	校長
	川畑 茂	教頭
	川島 明	事務長
	中谷 長史	教務部長
	伏見 聡	総務部長
	小川 信和	生徒指導部長
	各務 こづえ	進路指導部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 協議の進行について

- ・学校紹介、校務分掌、教育課程の説明
- ・学校経営方針および第4次岐阜県教育振興基本計画の説明
- ・授業参観(2時間目 1年次生の授業)
- ・指導の重点について(教務・総務・生徒指導・進路)
- ・意見交換

(2) クラスの少人数制について

意見1：授業参観にて、先生方が生徒の皆さんと丁寧に関わって自己表現ができる場を設けていて、子どもたちの自信につながっている。

意見2：自分が在籍していた当時は先生とほとんど会話は無かったが、今の山県高校は生徒の心に寄り添う場所があり、素晴らしい。

(3) 総務部の新設について

意見1：新しい発想で大歓迎である。しかし、教員が学校のことを知らないことも往々にしてあったりする。山県高生を3年間でどう育てるのかを、他の分掌と共に総務部も情報収集し、どういう方針を作り出していくかが重要である。

(4) 地元との連携、商業類型の課題研究について

意見1：外部講師の方について体験し学ぶ取り組みにおいて、商業類型の生徒のみに対象を絞ってしまうのは、視野が狭すぎる。教務や進路など各分掌の協力を得て、山県高校がどんな生徒を育てるのか、子どもたちが何を望んで、何を望んでいないのか、それらを全て汲み取って有機的なカリキュラムの構成を提示されたら、もっと楽しい学校になる。

(5) 制服の見直しについて

意見1：もう制服をやめたらどうか。県内の他の高校でも見直され、昭和の時代の教育はこれからの時代の子供たちにはプラスにならない点もあるのではないかと。言われたことを言われたようにやるのではなく、見ず知らずの人でも関わり、考え、自分自身を豊かに表現できる子どもを育てる方針であってほしい。

意見2：自分たちが高校生だった時代は着ていく物が無く、制服が一番良かったため、もし当時自由化したら親は困っただろう。今は時代が変わり、何でも選べる。賛否両論あるが、制服は見直してもいいのでは無いか。

意見3：制服があった方が楽なこともあると思う。今の時代に似合う私服もちろんあるが、学ぶ場として、やりたい放題だけでなく、ある程度の制限は必要だと思う。様々なルールの内容、目的、理由などを丁寧に伝え、実感させる場でもあってほしい。

(6) 豊かな心を育てる関わりやチャンスについて

意見1：自分は偉人の本を数多く読み、感動して泣いて、こんな生き方をしたいと感じた体験が何度もあった。先生との出会いや良い話の紹介などで、感動を今の時代の高校生に1回でも2回でも味わってもらえたら、人生が変わってくる。

(7) 生徒の様子について

意見1：昨年度は夏頃まで、生徒の対応に先生方が本当に駆け回って、生徒と向き合ってくれたと記憶している。不安定な思春期のお子さんたちが、今年はどうな感じかなと思っている。また、外部からの支援の先生、相談の先生が県などから入ってもらえると落ち着くのかなと思うがどうか。

意見2：小学生の3人の孫と生活しているが、お互いに言い分があっても情緒を言葉で上手に説明できず、喧嘩になったりする。とことん聞いて整理するだけでも非常に時間がかかるのだが、今の時代の学校でも起こっていることだろうと感じる。子どもの自己実現に向けて分析し、技術を極めようとしている今回のお話を聞いて非常に楽しみだ。

(8) 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、授業参観と今年度の本校の学校運営基本方針について説明を行い、意見交換を行った。全委員より学校運営方針の承認が得られた。また、会長、副会長の選出についても全委員の承認が得られた。

引き続き、一人一人の個性を伸ばす指導と関わり合いを育てる指導を軸に、現代の価値観を踏まえた指導方針の見直しや業務の改革を推進しつつ、地域とともに生徒が活躍できる環境を整え発展させていくことの重要性を再確認した。